

特別賞

世界の水事情と仮想水

高陵中学校 二年 関根 琳

僕は、八月にオーストラリアに行き、一週間ホームステイを体験しました。ホームステイをして、オーストラリアは日本よりも水が不足している事を身をもって知りました。それから、世界の水事情に関心を持ち、世界の水事情について調べてみました。

地球には、約十四億立方キロメートルの水があります。しかし、その九十七・五パーセントは、海水です。淡水はたったの二・五パーセントで、そのほとんどが氷や地下水なので人類が簡単に使える水は地球全体の0・0一パーセントの水だけです。地球全体の水を風呂に例えると、一滴です。これを知った時、僕は衝撃を受けました。今まで、地球は水の惑星だから水不足の心配はないと思っていたからです。

現在、世界の七億人が水不足に苦しんでおり、世界の五人に一人がきれいな水を飲むことが出来ないといわれています。こんな人数が水に困っているという事は、僕の想像以上でした。さらに、今後もこれまでのペースで水を使用すると二〇二五年には、三十七億人が水不足になるそうです。水不足が深刻化すると、食糧危機や紛争も起きます。

世界の水事情を調べていると、「仮想水」という言葉が出てきました。仮想水とは、輸入される食料の生産に必要な水のことです。例えば、牛肉一キログラムでは仮想水は二十トンになります。日本の年間水使用量は八三〇億トンです。そして、食糧自給率の低い日本は、仮想水を海外から八〇〇億トン輸入しています。これは、年間の使用料とほとんど同じです。一人に換算すると、年間六〇〇トン、一日浴槽八杯分の仮想水を輸入しています。つまり、日本は海外の水を大量に使っているのです。日本も世界の水不足に関わっているのです。

世界がこれほど水不足だと知り、節水の重要さを改めて感じました。そこで、良い節水法を調べたり、自分で考えてみました。シャワーを十五分使うと、浴槽一杯分になるそうです。なので、シャワーの使用はなるべく控えたいです。米をといた時に使った水や、シャワーが温かくなるまでの冷たい水などを、植物用にするのが良いと思いました。僕の家では、風呂の残り湯で洗濯をしています。こうして、一人一人が出来る小さな事から節水をして、それをみんなで積み重ねていけば、未来の大規模な水不足を少しでも軽くできると思います。

自分は、水に困ってはいません。それは、日本が水が豊富な国だからだと思っていました。しかし実際は、それだけではなく、世界中の水を仮想水として消費しているからだと知りました。世界の貴重な水を使わせてもらっている日本人として、節水を心がけないといけないと思いました。これらの情報を知った者として、他の人にも節水の大切さを伝えていきたいと思っています。